

# 平成 30 年度 我が校の学ぶ力向上策

甲賀市立小原小学校

## 全国学力・学習状況調査の結果より

### 明らかになった本校の課題

- 国算の活用問題及び書く力・読む力に大きな課題が見られた。解決が困難なときには無解答率が高い。
- 質問紙調査から、学習習慣を身に付け、粘り強く学習に取り組む必要が伺える。
- 家庭においては TV やゲームに充てる時間がとても長く、読書量が少ない。宿題はしているが、自主的に予習や復習に取り組むことは少ない。

## 学力向上のための継続した取組と

### 改善してきた点

- 協働的な学びのスタイルを採り入れた授業改善、思考ツールを使った思考力、判断力、表現力の育成に努めてきた。
- こうか授業術五箇条を意識して日々の授業に取り入れた。

## 課題改善の具体的方策

### □日々行うアクティブ・ラーニングへの授業改善

- 校内研究を中心に主体的・対話的で深い学びが実現するための日々の実践に取り組む。その際、教科等に求められる「つけたい力」及び「教科等で付けたい資質・能力」の明確化と、こうか授業術の学習過程を意識する。特に「考えつなげて話し合い」の部分での充実を図る。
- 小中連携事業と連動させ、9年間を見据えたより良い授業のあり方を実践的に探る。

### □全校で行う学ぶ力の土台づくり

- 「わかる」「できる」「やってみたい」があふれる授業づくり、自己有用感を育む学級づくりの推進。
- 主体的・対話的な学びの基となる「聞く力」「話す力」「書く力」といった言語力を、各教科等を通じて、また全校体制で育成。
- 「授業のユニバーサルデザイン化」を全校体制で進め、「どの子にとっても分かりやすい授業展開」についての研修の推進。
- 「いつも手元に読みかけの本を」を合い言葉に、読書の推進の具体化。
  - ・読書環境の整備（読書ボランティアによる「本ミーティング」）
  - ・読み聞かせや本バスの活用

### □連携して行う家庭学習の充実

- 各家庭での協力を得るため、PTA の集会や通信を通じて基本的な生活習慣の定着を図ることや家庭学習の大切さについての啓発を行う。
- 授業と結びつけた家庭学習を推進し、予習も含めた自主的な学びの習慣を培う。

## 策定の時期と今後の改定予定

- 1 学期：・全国学力学習状況調査の結果を自校分析し、1 学期以降の取組の重点化を図る。
  - ・授業のユニバーサルデザイン化の重点化と検証をする時間を確保する。
- 2 学期：・「学びの基礎チャレンジ」4～6 年のテストの結果で取組について検証する。
  - ・主体的・対話的な授業への改善を目指した授業研究を推進する。